



青木小学校だより

青木小HP <http://www.aoki-aoki-ele.ed.jp/>

発行：青木村立青木小学校

発行日：令和2年1月31日

No. 143

新年を迎え、48日間の3学期がスタート

1月8日（水）から48日間の3学期がスタートしました。始業式では、代表児童が新年や今学期に向けての決意を発表してくれました。すべての子どもたちが、それぞれの「夢」や「目標」に向かい、一歩ずつ確実に進んでいく姿を期待しています。各教室では、年末年始の様子について伝え合ったり、宿題等に取り組んだ成果を作品とともに発表し合ったりする様子も見られました。ご家庭、地域の方と一緒に過ごし、多くのことを得ることができたことでしょう。今年も皆様との『連携』を大切にしながら学校教育活動を推進していきたいと考えております。よろしくお願いいたします。



【3学期始業式～青木中学校教頭 宮崎桂子先生のお話～】 ※台風19号で被災した経験をお話しいただきました。《1月8日(水)》



昨年の10月、台風19号で、長野に大きな被害があったことを覚えていますか？

今日は、その災害について、私が経験したことをお話します。

10月13日(日)の朝 私の両親が住んでいる豊野にある家は、2階まで水が入って、住めない状態になりました。1階の床から2m36cmの高さまで水が入りました。その家のそばには浅川が流れています。中学生のとき、2年連続、浅川の水があふれて、ボートで助けてもらったこともありました。「天災は忘れた頃にやってくる」という言葉がありますが、30年ほど浅川の水があふれていないので、大丈夫だろうと思っていました。

10月12日(土)の夕方5時頃 千曲川の水が多くなったという放送が流れ、浅川の水があふれる可能性が高くなりました。両親と相談し、避難しようということになりました。避難する前に、1階に置いてある大切な物を2階に運びました。「明日の朝には帰って来るから、このくらいで…」という気持ち

でした。夕方6時半頃、豊野西小学校に避難しました。体育館に入ると、ブルーシートが半分くらい敷かれていました。時間がたつにつれて少しずつ人が増えていき、夜中には体育館がいっぱいになりました。毛布を一人2枚ずつもらい、寝ようとしますが、緊急メールがひっきりなしに鳴り続けていて、眠れませんでした。

10月13日(日) 夜が明け、雨もやみました。川があふれたというお知らせはありませんでした。

避難しているみんなで、よかった、大丈夫だったと安心しました。しかし、朝の7時頃、急にサイレンが大きな音で鳴り響きました。何事かと思い、窓から外を見ると、湖のようになっていました。信じられなかったです。水が増えていき、どこまで増えるのかと怖くなりました。ヘリコプターが飛んでいる音、救急車のサイレンの音、消防車の鐘の音などが鳴り響いていました。

10月15日(火) ようやく水が引き、家の片付けに行きました。道が通行止めだったり、車が通れる状態ではなかったりしたので、歩いて家まで行きました。道はドロドロの状態、様々な物が散乱していました。家に着き、玄関が開かなくなっていたので、台所の入口から家の中に入りました。そのとき、さらに驚きました。冷蔵庫は棚と棚にはさまって宙に浮いた状態でした。そして、リビングに行こうとするのですが、物が倒れ、転がり、それらが重なり合って泥まみれで、なかなか進めません。やっとの思いでリビングにたどり着くと、タンスや棚はひっくり返し、となりの和室は、たたみも浮いて斜めになって、上か下かわからないくらいにぐちゃぐちゃになっていました。すごい勢いで水が流れ込んでこの状態なのだと思います。水の威力のすごさを知りました。何もしいわけにはいかないので、片付けを始めました。友だちや以前一緒に働いていた先生たち、ボランティアの人たち、たくさんの方が手伝ってくれました。土日は、高校生も手伝いに来てくれて、力を貸してくれました。本当にうれしかったです。

そして11月27日、約1ヶ月半の避難所生活が終わり、アパートに引っ越ししました。

改めて普通に過ごすことができることのありがたさを痛感しました。家があるという、普段、何ともない当たり前のことが…。避難する前にもっとこうしておけばよかったと思うことがたくさんあります。でも、もう元に戻ることはできません。そして、これから何かあるか誰にもわかりません。だから、今という時を大切にしていきたいと思います。そして、家族や友だち、洋服や本、ノートなどの物、
(中略あり)



自然の力の大きさを実感すると共に、自然災害にどのような備えや心構えをしておくべきかを考える良い機会を与えていただきました。宮崎先生ありがとうございました。

各教室や廊下に作品が展示!!

冬休みの力作が
そろいましたね♪



1月の学校行事等の様子から

新たな時をむかえる準備がスタート ～中学校体験入学・来入児体験入学～

《1月21日(火)》

3学期を迎え、1年のまとめとともに新年度の準備も始まっています。青木村で大切にしている保小中一貫教育において、体験入学も進められています。

21日(火)には「中学校体験入学」が行われ、6年生が青木中学校での学校生活を体験しました。顔見知りの「先輩」の姿をみて、中学生の凛々しさを感じたり、春から生活する教室や授業の雰囲気を感じたりして、気持ちも引き締まったことでしょうか。また、残された小学校生活に対する思いも深くなったのではないのでしょうか。

また、28日(火)に予定されていた「来入児体験入学」は、保育園でインフルエンザが流行り始めたため、2月18日(火)へ延期とさせていただきます。各幼稚園・保育園の年長の皆さん、2月の体験入学での授業体験や1年生との交流を楽しみにしててくださいね。

学校では、これから「出会い」と「別れ」、二つの場面を迎えます。送る寂しさ、迎える嬉しさなど、感動的な場面を気持ちよく迎えることができるように、しっかりと準備していき、新たな自分との出会いにも、希望を膨らませていければと思います。「よい別れが、よい出会いを生む」とも言われます。1日1日を大切に過ごしていきたいものです。



「青木小学校の顔」バトンタッチ ～児童会役員選挙立会演説会・投票～

《1月27日(月)》

令和2年度児童会役員選出のため、5年生が中心となって選挙運動を行いました。27日(月)の立会演説会と投票により新児童会役員が決定しました。演説会では、どの立候補者も学校生活に対する思いを自分の言葉でしっかりと語り、仲間に協力を呼びかける姿がとても頼もしく感じました。6年生も安心したのではないのでしょうか。児童会役員は、「青木小学校の顔」とも言える役割を担うこととなります。児童会長を中心とした新6年生は、もちろんのこと、1～5年生の協力は不可欠です。児童会長の願いを共有し、よりよい学校生活が築けるよう支援していきたいと思えます。



学びの広がり ～4年生消防出初め式～

《1月12日(日)》

1月は、書き初め大会、スキー・スノーボード教室といった青木村で企画推進していただいている活動もあり、子どもたちの体験・学びの場が広がっています。12日(日)に行われた「消防出初め式」に参加を希望した4年生が地域の方と共に村内を行進しました。子どもたちは、地域の安全を守る人々や活動の様子を知り、自分も地域に生きる一人として「できることは何か」を考える機会になりました。4学年の学習『くらしを守る』について、体験を通して一層理解できたことと思います。



学習支援ボランティアだより

【総合的な学習の時間 米作り】

今年度、5学年は、堀内様にご協力をいただき、総合的な学習の時間で「米作り」を体験させていただきました。田植え、稲刈り、脱穀と様々な経験をさせていただく中で、農家の方の工夫や努力、お米の大切さなどを学びました。地域の皆様のおかげで、生まれ育った青木村の魅力を感じることができて感謝しております。



【お知らせ】

○学校給食用食材の放射線物質検査結果について

1月17日(金) 白菜 (産地:長野県) 放射性セシウム 不検出

【2月の予定】

3日(月)	節分祭(1～3年)	17日(月)	わたぼうしの会(3・4年)
4日(火)	ALT来校	20日(木)	花まる学習(1～5年)
6日(木)	ALT来校		花まる講演会(6年)
7日(金)	スキー教室(4～6年)		ALT来校
8日(土)	金管バンド休日練習	21日(金)	ALT来校
10日(月)	地域参観日(4・5年)	25日(火)	ALT来校
13日(木)	給食費振替日・和楽器講習(5年)	26日(水)	児童総会・ALT来校
14日(金)	地域参観日(1・2・3学年)	27日(木)	登校班確認会
	ALT来校		3・4組6年生を送る会
15日(土)	金管バンド休日練習		給食費再振替日(今年度最終)
	金管バンド女性団体連絡会交流会参加	28日(金)	ALT来校